

記入例

第2条関係)

市記入欄

広域・転園・小規模等満了
未出生・年度途中(月)
きょうだい同時・事業所枠

施設型給付等支給認定申請書兼特定教育・保育施設等入所申込書

令和3年11月8日

喜多方市長 様

- ・父母のうち保護者として登録する方を記入すること(市内在住者)。
- ・きょうだいが入所している場合は、きょうだいと同じ保護者にすること。

ます。
育・保育施設等に入所を申し込みます。

- ・自署でない場合は押印すること。
- ・スタンプ印(朱肉を付けずに押すもの)は不可。

閲覧

と。

| | | | | |
|----------|---------------------------|------------------|-----------|-------------------------|
| 保護者(申請者) | ふりがな | きたかた たろう | 父(携帯・勤務先) | 000 - 0000 - 0000 |
| | 氏名 | 喜多方 太郎 | 日中の連絡先 | 0000 - 00 - 0000 |
| | 住所 | 喜多方市字御清水東7244番地2 | 母(携帯・勤務先) | (自宅) AAAAA - AA - AAAAA |
| | 令和3年1月1日現在の住所(喜多方市外の場合記入) | 会津若松市00001-2-3 | | |

- ・令和3年1月1日現在の住所が喜多方市以外の場合は、当時、住民票を置いていた住所を記入すること。

| | | | | | | | | | |
|---------|----------|---|---------|-----------------------------|------------------|-----|-----|---------|---|
| 申請に係る児童 | ふりがな | きたかた くらすけ | 生年月日 | 平成 令和 | 2年 4月 15日 | 性別 | 男・女 | 保護者との続柄 | 子 |
| | 氏名 | 喜多方 蔵之介 | 個人番号 | 1 2 3 4 - 5 6 7 8 - 9 1 2 3 | (令和4年4月1日時点年齢1歳) | | | | |
| | 障害者手帳の有無 | 有・無 | 療育手帳の有無 | 有・無 | 特別児童扶養手当証書の有無 | 有・無 | | | |
| | 希望認定区分 | <input type="checkbox"/> 1号 <input type="checkbox"/> 2号 <input checked="" type="checkbox"/> 3号(0~2歳児) | | | | | | | |

- ・有に○をつけた方は、手帳等の写しを添付すること。

- ・世帯員全員の状況を記入すること。
- ・住所が別の場合でも生計が同一である子どもの父、母、きょうだい等も記入が必要です。(単身赴任の父母など)
- ・住所が喜多方市外の場合は、備考欄に住所を記入すること。
- ・1枚に書ききれない場合は、本書を2枚使用すること。(2枚目以降は①世帯の状況欄のみ記入)

※1号を選択した場合は裏面③の記入は不要です。

① 世帯の状況(世帯分離や別居の場合でも、生計を一にしている場合)

| 生計を一にする世帯員(申請に係る児童を除く) | ふりがな 氏名 (個人番号) | 児童との続柄 | 生年月日 | 職業 | 同居/別居 |
|------------------------|----------------------|--------|---------------------------|---------------|----------|
| 喜多方 太郎 | きたかた たろう | 父 | 大正 昭和 平成 60年 10月 1日 | 〇〇株式会社 | 別居 |
| 喜多方 花 | きたかた はな | 母 | 大正 昭和 平成 令和 63年 8月 11日 | 〇〇株式会社 | 同居 別居 |
| 喜多方 山都 | きたかた やまこ | 兄 | 大正 昭和 平成 令和 27年 6月 10日 | 〇〇小学校 | 同居 別居 |
| 喜多方 塩美 | きたかた しおみ | 妹 | 大正 昭和 平成 令和 3年 9月 3日 | 〇〇保育園 第一希望 | 同居 別居 |
| 加納 高子 | かのう たかこ | 祖母 | 大正 昭和 平成 令和 31年 5月 23日 | 無職 | 同居 別居 |

- ・世帯員全員の個人番号を記入すること
- ・提出時は、保護者(申請者)のマイナンバーのみ確認を行うため、他のマイナンバーは正確に記入すること。

- ・家庭の状況に該当する方は、✓をつける。
- ・障がい児(者)世帯に✓をつけた方は、障がい者手帳等の写しを添付すること。

| | | | | |
|------|--------------------------|---|------|--------------|
| 本人確認 | 1 提出者(保護者・保護者以外(委任状必要)) | 別 | 未婚 | その他() |
| | 2 申請者の個人番号確認(確認・未確認) | 月 | 日開始) | □障がい児(者)世帯 ※ |
| | 3 提出者の本人確認(個力・運免()・その他) | | | |

記入上の注意

この施設型給付等支給認定申請書兼特定教育・保育施設等入所申込書は、保護者が次の点に注意し記入の上、市役所こども課または各総合支所住民課（施設（事業者））を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出してください。なお、その家庭から2人以上の児童が同時に申請を行う場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

（表面）

- 1 「保護者（申請者）」が自署でない場合は、押印が必要です。
- 2 「日中の連絡先」は、日中に確実に連絡が取れる電話番号を記入してください。
- 3 「障害者手帳の有無」、「療育手帳の有無」、「特別児童扶養手当証書の有無」の欄は、それぞれ該当するものを○で囲み、手帳等の写しを添付してください。
- 4 ①「世帯の状況」の欄は、申請児童の保護者、同居している親族及び生計を一にしている兄弟姉妹等（別居を含む。）の全員（申請児童は除く。）について記入してください。別世帯でも同一住所の方は、世帯員として記入してください。

（裏面）

- 5 ②「利用希望期間」の欄は、卒園まで希望する場合は小学校就学前までにチェック（）をつけ、それよりも前までの期間を希望する場合は、利用を希望する期間を記入してください。
- 6 ②「希望する施設（事業者）名」の欄は、希望する順位に従い、第5希望を上限に施設（事業者）名を記入してください。また、その施設（事業者）を希望する理由（例えば、既に兄弟が利用しているため、延長保育（預かり保育）を実施しているため、距離が近いため等）を記入してください。
- 7 ③「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、表面の「希望認定区分」の欄で2号、3号を選択した場合に記入してください。（1号を選択した場合は記入の必要はありません。）
- 8 保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。

保育の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

- (1) 就労等（家庭外労働）児童の保護者が家庭の外で仕事をするため、その児童の保育ができない場合
（家庭内労働）児童の保護者が家庭で仕事をするため、その児童の保育ができない場合
- (2) 妊娠・出産 児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合
- (3) 疾病・障害 児童の保護者が病気、負傷、心身に障害があるため、その児童の保育ができない場合
- (4) 介護等 児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障がいのある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合
- (5) 災害復旧 火災、風水害、地震などの不幸があり、その家庭を失ったり破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合
- (6) 求職活動 児童の親が求職活動（起業準備を含む。）を行っているため、その児童の保育ができない場合
- (7) 就学 児童の親が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む。）のため、その児童の保育ができない場合

- 9 ③「保育の利用を必要とする理由」の欄は、保護者等が児童を保育できない理由を8の表(1)～(7)のいずれに掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての□にチェック（）してください。なお、(1)～(7)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合は「その他」にチェック（）し、内容を（ ）内に記入してください。また、「続柄」の欄について、父母以外が保護者となる場合は、その方の続柄を（ ）内に記入してください。（祖父母等。）
- 10 ③「希望する保育必要量」の欄は保育標準時間と保育短時間のうち希望する方にチェック（）してください。なお、月120時間未満の就労や求職活動理由の場合は原則保育短時間認定になります。
- 11 ④「きょうだいと同時に同施設を申し込む場合の利用希望」の欄はきょうだいと同時に申込する場合に記入してください。希望を基に利用調整を行います。施設の受け入れ状況等によっては必ずしもご希望に添えない場合がありますのでご了承ください。

（留意事項）

支給認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、下記の場合がありますのであらかじめご承知ください。

- ・ 保育の認定基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- ・ 希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合
- ・ 保育の認定基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合